

(b) 三度の春 共感福音者では、(1)麦の穂の春、(2)青草の春、(3) 過越祭の春と、イエスの公的活動期間に三度の春が訪れていることが確認できる。ちなみに、ヨハネ福音書では、イエスがその活動期間に三度にわたって過越祭の時期にエルサレムを訪れている。しかも、この三度目の過越祭の間に処刑され公的生活を終えられた。

4 まとめ

四福音書は、ユダヤ歴のニサン月の 14 日の金曜日に、イエスが処刑されたと報告している。イエスの公的活動が終了する時期にニサンの 14 日が金曜日である年は、西暦 30 年と 33 年であると言われている。

だから、イエスはその公的活動を、28 年に開始し、それから二年半の活動を最終的にエルサレムで終え、30 年の春先の過越祭の期間中に処刑された。イエスは紀元前 5 年に誕生したので、彼がその活動を開始した時(西暦 28 年)の年齢は 32 歳であった。これは、「イエスご自身が宣教を始められたのは、およそ 30 歳の時(ルカ 3:23)と符合する。

B 先駆者としての洗礼者ヨハネ

1 ヨハネの活動

(a) 出発点 マタイとルカにおいては、イエスの誕生物語の冒頭で、洗礼者ヨハネが登場する。

洗礼者ヨハネが、エルサレムの郊外の山里で父ザカリアと母エリザベトの間に生まれたのは、アルケラオがユダヤ地方の民族統治者として治め始める前後の頃だったであろう。彼の父ザカリアは、24 組の祭司の中のアビア組に所属する下級祭司だった。

ヨハネは、ティベリウス帝治世の十五年目(ルカ 3:1)なので、西暦 28 年、つまり彼が 30-35 歳のときに洗礼活動をする預言者として荒れ野でデビューした。彼は、「ラクダの毛衣を着・・・イナゴと野蜜を食べていた(マルコ 1:6)」。彼は、パレスティナ地方を南北に駆け巡り、ガリラヤ湖と死海とを結ぶヨルダン川のほとり、おそらくその南部エリアで預言者として活動していた。彼のもとに集まる民衆を、ヨルダン川に全身浸す回心の洗礼を授けていたので、洗礼者ヨハネという名が付けられていた。

(b) ヨハネの教え

ルカ 3:7-8,16

マタイ 3:11

さらに、マルコは、ヨハネの活動を「罪の赦しを得させるための回心の洗礼を宣べ伝えた(マルコ 1:4)と要約している。つまり、(1)終末の到来に備えるための勧告、(2)罪の赦しになる回心の洗礼を受けるようにとの勧めである。